



◆記事一覧

- P2-6 ● 町政執行方針
- P7-8 ● 教育行政執行方針
- P9 ● 予算概要
- P10 ● 町内新就職者紹介
- P11 ● 警察官紹介
- 総務省北海道管区  
行政評価局長表彰
- P12 ● 地域おこし協力隊通信 Vol.11
- P13 ● サケ稚魚見学・放流体験
- わがまちタイムスりっぷ
- P14 ● 保健師だより
- 門間先生の水中運動教室
- P15 ● 旅先納税の導入について
- ベイビートーク
- P16 ● 北海道みんなの日
- 戸籍の窓口 他

# 3年ぶりに利尻島を駆ける

『第20回利尻島一周悠遊覧人G』より

令和4年

6月号

No.253

広報 

# いししし富士

# 令和4年度 町執行方針

安心で安全な  
住みよいまち、輝くまち



令和四年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、町政執行に臨む私の所信と施策の基本的な方針を申し上げます。

一昨年より続いております新型コロナウイルス感染症が、一向に収束する気配が見られず、北海道において「緊急事態宣言」が発令され、現在は「まん延防止等重点措置」期間が延長されている状況であります。

新年早々に当町の特別養護老人ホームにおける新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生し、入居者の方々やご家族の皆様、町民の皆様にも多大なご心配をおかけしましたが、関係機関の皆様からご指導・ご支援と施設職員等の懸命な努力により、二月二十五日に終息宣言を出すことができました事

に心から感謝を申し上げますとともに、今後も感染予防対策を徹底してまいり所存であります。

さて、私は、昨年の町長選挙において議会の皆様、町民の皆様方の心温まる多くの激励、力強いご支援により、三期目も無投票当選という最高の栄誉を与えてくださったことに厚く感謝と御礼を申し上げますとともに、更なる重責を感じながら町政に邁進していく所存であります。

新たなスタートを切った三期目においても基本的な考えを変えず、六つの政策方針をさらに充実させるため、今議会に関連する令和三年度各会計補正予算、令和四年度各会計予算を編成し、各条例の一部改正などを提案しておりますが、「利尻富士町まちづくり総合計画」の指針に則り、まちの様々な課題に全力を傾注して、町政を執行してまいりますので、議員各位、並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## 一．浜を元気に、 観光を元気にする取り組み

始めに、本町の基幹産業である水産業の状況についてですが、昨年の利尻漁業協同組合における町内の漁業生産額は、計画していた十七億四百万円を二億百万円下回る十五億三百万円となりました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症

の感染拡大の影響により、流通や消費の停滞による魚価の低迷に加え、一部サケやナマコなど水揚げが回復した魚種があったものの、総体として水揚げは低迷しており、漁業者にとっては厳しい一年でありました。

水産業を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、浜が元気でなければ町に活気が出ないと考えており、豊かな浜づくり、豊かさを実感できる浜づくりを進めるためにも、コンブやウニなど利尻ブランドの価値を高め、水産資源の適切な管理と消費の拡大に努めるとともに、漁業協同組合や漁業者と連携しながら漁業振興に取り組んでまいりたいと考えています。

新年度における水産振興の取り組みでございますが、まずは担い手対策として新たに二名の漁業後継者に対し磯船を贈呈する予定となっております。また、離島漁業再生支援交付金や特定有人国境離島漁村支援交付金事業の実施による漁場の生産力向上や新規就業者確保及び雇用機会拡充の取り組みとあわせ、北海道の補助制度を活用しながら、鬼脇地区のコンブ保管施設整備や加工機器整備などの支援にも取り組んでまいります。

北海道が行う水産基盤整備事業では、令和四年度から始まる漁港漁場整備長期計画に基づき富士岬沖及び鬼脇沖に魚礁設置工事を行うほか、清川地先への囲い礁整備のため測量試験を実施します。また、海岸事業では雄志志内海

岸の津波・高潮危機管理対策緊急事業による護岸整備を継続して実施するとともに、「海を育む海岸づくり事業」として海岸保全機能と漁場保全機能を併せもった離岸堤設置についても、事業実現に向け、関係機関に対し引き続き強く要望してまいります。

港湾関係では、国直轄事業として駕泊港鬼脇港区の南防波堤とマイナス二・〇m物揚場の改良工事が継続して実施されるほか、駕泊港の南外防波堤改良に向けた測量設計費の予算化について国と協議を重ねるなど、関係者と調整し円滑な事業実施に努めてまいります。

次に観光業についてですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国的に緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置が適用されたことから、国内外の観光需要は大幅に減少し、観光関連産業は極めて厳しい状況におかれています。

令和三年度上期における観光客の入込数は三万六千八百人、宿泊客延数は二万三千九百人と一昨年と比較し約七割減少という厳しい状況にありますので、国や道が行う観光需要回復のための経済対策と連携を図りながら、町内の経済活性化に向け取り組んでまいります。

新年度における観光業の取組でございますが、滞在観光を促すスタンプラリー「利尻クエスト」の実施や、サイクルツーリズムの推進、恋する灯台ブ

ロジェクトの展開など旅中での体験メニューの充実を図るとともに、町内の観光施設や温泉施設の維持補修、温泉水配湯車両の更新など実施してまいります。また、本年度、北海道での現地開催が見送られた「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット」について、令和五年度北海道開催が正式決定し、プレサミットコースに採択されていた利尻礼文を巡るツアーについても実施される予定となっていることから、受入れに向けた準備を進め、利礼三町と稚内市による「地域連携DMO」設立に向けた観光地域づくりに対しては、各地の観光協会や商工会、交通事業者等とともに取り組んでまいります。

商業については、新たに商業後継者二名に対し報償を贈呈する予定となっており、商工会の運営に対する補助や、町内の商業者の事業の継続、雇用の維持、経営環境の改善等、コロナ禍における喫緊の課題に対し積極的に取り組んでまいります。

**一・ 離島住民の安心で安全な生活を守る取り組み**

昭和二十八年の離島振興法の制定以来、全国の離島では生活条件の改善、産業基盤の整備等を中心とする社会資本の形成は大きく進展しましたが、離島を取り巻く自然的・社会的諸条件は依然として厳しく、過疎化・高齢化に加え、第一次産業の不振や新型コロナ

ウイルス感染症による影響、更には原油の高騰等も相俟って、近年、離島の定住環境は著しく悪化してきております。このようなことから、現行の離島振興法が来年令和五年三月末をもって失効することを受け、本町を含めた離島住民の安心で安全な生活を守るため、全国離島振興協議会を始めとした関係機関との連携を図り、国に対する要望活動等により、離島振興法の改正・延長・拡充強化を実現するため、全力を注いでまいります。

併せて、有人国境離島特別措置法により、フェリー運賃についてはJR在来線並み、航空運賃については新幹線並みと本土と変わらないよう、引き続き離島運賃割引を実施するとともに、水産物や水等の輸送コストの軽減についても引き続き支援してまいります。

航空路線運賃につきましては運賃の低廉化のほか、日本航空(JAL)・全日空(ANA)とも、お客様のより良い利便性と負担軽減を図るため、従来より行っており、離島住民割引制度等の助成についても継続してまいります。

通年運航のJAL便(利尻―丘珠間)は、三月二十七日から十月二十九日までの夏期ダイヤにおいて、現在の一日一往復から春のゴールデンウィーク及び、お盆期間等、祝日と土曜日、日曜日の午前便を増便し、一日二往復を予定しており、この複便化により離島住民の生活交通路線及び札幌市など道央圏から離島への観光路線として、更なる利便性向上を図ってまいります。

また、季節運航となっているANA便(利尻―新千歳間)は、六月から九月までの四カ月間、運航される予定となっており、今後も離島住民の生活、医療、観光、経済の活性化に必要不可欠な生活路線でありますので運航事業者に赴き、航空路線の維持・存続を図ってまいります。

町道整備につきましては、鴛泊市街中央線(バイパス)、鴛泊市街九号線の改良(見晴ヶ丘団地―石塚建設寮)、本泊漁港線の側溝改修、大磯自治会から要望のありました大磯作業道整備と維持関係では、道路附帯施設(道路照明等)の点検調査や橋梁長寿命化計画の見直しを行い計画的に町道の維持管理を進めてまいります。除排雪の関係では、令和三年十二月末からの大雪により道路内の一部も堆雪場となり、幅員が狭い地区・見通しの悪い交差点等も多数あったことから本年度は、堆雪場となる道路と交差点等の除排雪体制の見直しと、老朽化したロータリ除雪車の更新を図り、町民の皆様のご協力を得ながら効率的な除排雪に努めてまいります。

道路の整備関係ですが、旭浜地区につきましましては現在の工事区間四百二十mは完了となり、富士野地区は、橋梁架替え事業による仮道の設置、鯉泊地区は、家屋補償が完了した箇所は、道路改良、湾内地区は、令和二年八月に土砂が流出した斜面の復旧事業が実施予

定となっております。今後においても北海道に対し、道路除草・除排雪等適正な維持管理と、狭隘な道路の拡幅や急勾配、急カーブの早期改良の着手について要望してまいります。

公営住宅の整備につきましては、富士野団地(鴛泊地区)二棟八戸の個別改善工事と、富士見団地及び富士野団地(鴛泊地区)二棟八戸の次年度施工に向けた実施設計を計画しており、利尻富士町公営住宅等長寿命化計画を基に個別改善事業と新規住宅建設事業の着手についても検討をしながら、住環境整備を進めてまいります。

鴛泊市街地街なみ環境整備事業につきましては、施設等の整備をするための現況測量・高低測量を旧消防跡地と本町旧生活排水浄化施設付近で実施し、施設配置や規模、整備の可能性等を検討していくと共に、整備の際に必要な土地の確保について調整をしながら進めてまいります。また、旧生活排水浄化施設については、今後、施設整備する上で支障となることから解体調査設計を実施いたします。

水道関係につきましては、住民の生活や経済活動を支える重要なライフラインであり、安全で安心な水の安定供給に向けて、引き続き水道施設の維持管理に努めてまいります。

下水道事業につきましても、鴛泊・鬼脇終末処理場の長寿命化を図るため、電気計装設備の更新事業を実施し、施

設の適正な維持管理を行い、安定した水処理を行ってまいります。

以上のとおり、離島地域で生活している住民が、地理的特殊事情からくる制約条件を本土と等しくなるよう改善し、交通体系の整備や産業の振興、生活環境の整備など、総合的な住環境整備を国や北海道に対して実情を訴え、講ずるべき対策を協議していただき、地域住民の生活基盤の改善を図ってまいります。

### 三. 町民を守る 防災機能充実への取り組み

二〇一一年に発生した東日本大震災から早十年が経ちましたが、地震大国とも言われる我が国では、全国各地で大小の地震が頻発しており、一月には南太平洋での大噴火に伴う津波注意報が発表されております。

また、毎年全国各地で大雨による土砂災害が発生しておりますが、本町においても五十年に一度の大雨等により、町内各所での土砂崩れが数年おきに発生し、また、近年では冬期間に大雪や暴風雪による通行止めが多発しています。一方、昨年は観測史上最高の気温三十一・七度を記録するなど、もはや異常気象ではなく常態化しているといつても過言ではありません。

このようなことから、本町に対する大規模自然災害の発生リスクが高まっていることを受け、災害用備蓄品の継

続整備はもとより、防災ラジオでの「FMわっぴー」による災害情報の伝達強化に向けた受信電界の調査を実施すると共に、IP告知放送用の屋外拡声局柱四基を鉄柱からコンクリート柱への更新を図ってまいります。

また、大雨等による土砂災害の危険性の覚知については関係機関との連携を密に迅速な住民対応にあたることともに、コロナ禍における避難所運営訓練を実施する等、災害発生による避難所運営に万全を期してまいります。

消防関係では、平成十一年に配備した指揮広報車を更新し火災対応の強化充実を図るとともに、救急業務につきましても、平成十七年に配備した高規格救急自動車の更新を図るとともに、救急救命士運用体制維持のため救急救命士の資格取得に職員を派遣するなど、救急業務の充実に取り組んでまいります。

また、四月に採用予定の職員一名を初任教育課程へ入校させ、消防職としての知識及び技術の向上を図り、さらには職員一名に大型自動車免許を取得させ、消火力強化に努めてまいります。

治山・砂防対策として、町の事業では鯉泊地区・無名川の流路整備と旭浜地区・朝日川の河床の一部を改修いたします。

宗谷森林管理署では、令和二年豪雨で被災した雄忠志内地区の法面復旧及びヤムナイ沢復旧治山は完了、湾内地区二ヶ所については、令和四年三月末の完成見込みとなっております、本年度予

定されている事業は、ヤムナイ沢の治山施設の調査設計と本泊、鬼脇、南浜地区の防火線等の整備となっております。

宗谷総合振興局林務課では、令和二年豪雨の災害復旧事業として、現在、湾内地区の人家裏の法面復旧とヤムナイ沢治山施設内土砂の排土事業を実施中ですが、令和四年三月末の完成予定となっております、本年度は、令和二年豪雨の際に被災した旭浜地区と鯉泊地区の治山施設の復旧事業を予定しております。

稚内建設管理部では、令和二年の豪雨での災害復旧として、アフトロマナイ川・オチウシナイ川の除石と砂防施設の改良事業は完了しており、令和四年度につきましても、オチウシナイ川で床固工の改良二基と、砂防施設内の排土について事業予定となっております。

近年の気候変動の影響等に伴い、短時間豪雨の増加や強度の強い集中豪雨が長時間継続するなど、雨の降り方が激変しているため、今後においても、治山・砂防施設の災害防止機能をより発揮させることが重要となりますので、国・北海道に対して引き続き事業の推進について要請活動を行ってまいります。



### 四. 住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備への取り組み

人口の減少と高齢化が著しい本町は医療・介護資源の少ない中、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できる環境を整備していくことが課題であります。

また、新型コロナウイルス感染症により人々の生活様式は一変しており、特に高齢者にとっては、感染の危険性だけではなく、外出の機会が減ったり友人や離れて暮らす家族と気軽に会えなくなるなど、家に閉じこもることに健康への悪影響が懸念されています。このため、新型コロナウイルス感染症の予防を行いながら、健康の維持に努めるためには「栄養」「運動」「人とのつながり」が重要となることから、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた各種事業の開催方法を検討しながら、外出のための移動支援、通いの場の再開や食生活のサポートを社会福祉協議会と一体となって、介護保険事業で実施してまいります。

秀峰園では、入居者が安心して生活を継続できるよう指導を図ってまいりますし、そのため、四月一日から民間介護事業所勤務経験者を採用し、組織の充実を図ってまいります。新型コロナウイルス感染症対策では、これまでの生活様式の見直しを図りつつ、施設内の換気・消毒はもろんのこと、徹底した感染対策を施設全体で取り組ん

でまいります。  
 デイサービスセンターでは、温冷配膳車を購入し、温かい食事の提供を行い、通所される利用者の利便性向上に努めてまいります。

利尻島老人保健施設では、開設から二十二年が経過している各居室の電動ベッドを今年度も二台更新し、利用者が快適に過ごせる環境の整備と、厨房用エアコンを整備し、食品衛生を向上した安心安全な食事の提供に努めます。  
 駕泊診療所につきましては、四月以降も利尻島国保中央病院からの医師派遣を継続し、今後の運営体制について病院組合と協議を進めてまいります。

また、地域の診療所として住民の健康を守っていくため、画像診断システム等の医療機器類を更新するなど、安定的な医療の提供に努めてまいります。  
 子育ての支援施策では、保育の無償化を継続し、令和四年度入所予定の五十四名の保育サービスの充実に努めるとともに、高校生までの子ども医療費無料化、高校生通学支援、出産祝い金事業等を引き続き実施してまいります。

町民一人ひとりが笑顔で生き活きと自分らしく暮らしていくためには、健康の維持・増進を図ることが重要となります。これまでも、健康づくりを進めていくため、健康教育・健康相談等に取り組んでまいりましたが、今後も健康寿命の延伸を目指した、ライフステージに応じた、きめ細やかな保健事業を展開してまいります。

疾病の予防や早期発見・早期治療による重症化予防を図るため、各種健康診査を実施しておりますが、受診率の向上が課題となっております。

特定健診の受診率向上については、国保連合会と連携し取組を進めておりますが、がん検診につきましても、受診率向上に向けた普及啓発を推進するとともに、一部のがん検診の自己負担を引き下げし、受診しやすい環境をつくり、合わせて特定疾患、難病等に対する助成など「きめ細かな福祉政策」を進めてまいります。

新型コロナウイルスワクチンの初回接種（一・二回目）につきましては、接種対象者の約八十九％に接種を完了することができました。

本年一月からは、追加接種を実施しておりますが、今後も引き続き接種体制の確保に努め、円滑に接種を進めてまいります。

墓苑（火葬場）の整備については、昨年度に基本計画を策定するとともに、地域の意見を踏まえた結果、墓苑で個人を偲びながら過ごすことができる待合室等を設置した施設を、駕泊・鬼脇墓苑を統合して整備するため、墓苑建設設計業務と用地等調査業務に着手し、令和六年度の供用開始を目指して整備を進めます。

国が進めるデジタル・ガバメントの実現で重要なのは、本人確認をオンラインで行うことであり、そのためにマイナンバーカードの普及拡大が重要で

あることから、各種手続等に手軽に申請できるような工夫を凝らしながら普及に努めてまいります。

### 五. 学びを支える 教育環境整備への取り組み

本町の教育施策を推進するにあたっては、総合教育会議により昨年改定した「利尻富士町教育大綱」の三つの基本指針を軸として、教育政策の目標を掲げ、それぞれの施策を着実に実行していく所存であります。

例年、北海道エアシステム（HAC）のご協力により実施している「ふるさと教育体験事業」を本年五月に小学六年生を対象として計画しており、利尻島上空の遊覧飛行を行い、直接体験を通してふるさと利尻島への愛着や誇りを育み、ふるさと教育の充実に取り組んでまいります。

また、GIGAスクール構想により昨年度各学校へ整備した一人一台端末（タブレットPC）の有効活用を一層推進し、効果的・効率的な学びの提供を目指します。

詳細につきましては、教育行政執行の内容も含め、このあと吉田教育長から申し述べますので、お聴きいただきたいと思っております。

### 地方創生関係について

令和三年度からの五カ年計画となる

「第二期利尻富士町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定したところですが、人口の減少速度が前計画からの五年間で加速しており、とりわけ生産年齢人口の流出による減少が顕著であることから、各項目において触れているものもありますが、地方創生のより一層の取り組みにより減少を鈍化させるべく、出産支援事業や子ども医療費の無償化、結婚イベントとして「島コン」への助成や利尻高校生への通学支援金の給付等十一の事業に予算計上し、引き続き魅力ある地域づくりを促進してまいります。

加えて、生産年齢人口の減少による労働力不足は深刻であり、将来的な町の社会構造の根幹を揺るがす喫緊の課題であることから、企業や産業界との情報交換や対話の場を創出し、今後の対策にステップアップするための現状把握に努めます。

### 六. 行財政改革の推進への 取り組み

三期目の所信表明の際にも述べさせていただきましたが、コロナの影響も含め国の財政の膨大な借金による地方財政への影響があるものと懸念しております。

「次世代に苦勞をかけない」ためにも、今後、町民からの要望がある施策を実施していくためにも、時代の変化を踏まえた公共施設のあり方や施策の

令和4年度 建設事業一覧表

【一般会計】

単位：千円

事業名	事業費
<b>総務費</b>	
職員住宅6解体工事	2,888
屋外排水改修工事	1,012
車輛購入費	1,870
計	5,770
<b>衛生費</b>	
火葬炉補修工事	1,547
葬苑建設設計業務委託	22,000
葬苑建設用地等調査業務委託	12,000
計	35,547
<b>農林水産業費</b>	
治山施設維持補修業務委託	5,300
修繕料(朝日川ボトルユニット)	4,000
小規模治山事業	40,480
離島漁業再生支援交付金	44,012
海岸漂着物処理業務委託料	6,000
野塚船揚場消波堤改良計画検討業務	1,000
漁業施設整備事業補助金	23,200
特定有人国境離島漁村支援交付金	32,433
水産環境整備事業負担金	750
計	157,175
<b>商工費</b>	
北麓野営場看板改修工事	710
計	710
<b>土木費</b>	
町道改良工事(鶯泊中央線)	60,000
町道改良工事(鶯泊市街9号線)	11,000
町道改良工事(大磯作業道路)	1,800
町道補修工事	13,200
町道側溝改修工事	11,000
橋梁長寿命化計画策定業務	3,000
除雪ロータリー車購入費	56,100
港町公衆便所解体工事	2,860
鶯泊港整備事業負担金	64,000
町並み環境整備施設実施設計画業務	10,000
ファミリーキャンプ場維持補修工事	20,000
公営住宅個別改善工事	69,400
飛行場標識施設補修工事	3,518
飛行場性状及び制限表面物件調査業務委託料	13,397
草刈業務委託料	8,943
高圧設備更新工事	4,745
滑走路灯修繕工事	660
計	353,623
<b>消防費</b>	
防災ラジオ受信電界調査業務委託料	2,500
非常用発電機整備事業	722
光ケーブル移設工事	3,200
旭浜地区光ケーブル支障移転工事	7,000
富士野地区光ケーブル支障移転工事	200
屋外拡声局柱更改工事	11,000
防災無線アンテナ撤去工事	1,300
計	25,922
合計	578,747

令和四年度財政運営について

再評価など、行政改革推進委員会を開催するため、新たな委員を委嘱し、意見を踏まえながら行政改革に取り組みてまいります。

本町の財政状況は、議会や町民の皆様方の行政改革に対するご理解とご協力のもと着実に進められており、財政健全化法に基づく四つの指標は、すべて国の基準をクリアしています。

これから審議頂きます令和四年度の予算は、本町の厳しい財政状況の中で、限られた財源の重点的・効率的な配分に留意し、町民の暮らしを守るこ

とを念頭に予算編成を行ったところであります。

その中で、一般会計の建設事業費は五億七千八百七十五万円となり、特別会計では三億四千三百九十九万円、合わせて九億二千九百九十四万円で、対前年度比七十一%の増額を見込んでおり、これらの事業によって地域の雇用、経済の好循環を促すための景気対策を講じようとするものであり、町民の働く場をしっかりと確保します。

また、全国各地の皆様からご厚意により寄せられている「ふるさと応援基金」三億五千万円を有効に活用すべく、三十七の事業に充てたいします。その結果、一般会計の予算規模は四

十五億六千五百万円とし、対前年度比三億八千万円増、率で七・一%の増額予算となっています。

また、簡易水道事業会計他九つの特別会計の合計で二十一億五千六百三十六万円。一般会計と特別会計を合わせた総額では六十七億千六百八十六万円となり、前年度対比八・八%増の予算としております。

以上、令和四年度の町政執行に対する私の所信の一端と、主な政策を申し述べましたが、新型コロナウイルス感染症拡大等の状況を受けて、基幹産業である水産業や観光業が打撃を受け、また、商工業等の経済活動も冷え込んでいる中で、この危機を乗り越えるた

めに、町民皆様はじめ関係者の方々の声を聴き、町内経済が活性化するように努力してまいります。

「安心で安全な住みよいまち、輝くまち」となるために、利尻富士町として町民の幸せのため、「町政は町民が主役であり、町民一体となって進めなければならぬ」ということを肝に銘じ、利尻富士町の先頭に立って町政運営に取り組んでいく所存でありますので、町議会議員の皆様をはじめ、町民皆様の温かいご支援と、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和四年度の執行方針とさせていただきます。

# 令和4年度 教育行政 執行方針



令和四年利尻富士町議会定例会三月会議の開催にあたり、教育行政の執行に関する主要な方針を申し上げます。  
今もなお、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中ではありますが、人と人とのつながりが希薄になりつつも学校が核となり、家庭や地域、行政が連携し、一体となった環境づくりが重要であると考えております。  
子どもたちも含めたすべての人にとって「学び続ける」ことの大切さを意識しながら「利尻富士町教育大綱」の具体的な基本方針をもとに、令和四年度におけるその諸施策について申し上げます。



## 一．新たな社会を 生きる力を育む

この二年間、感染症の影響で保護者の皆様や学校、教職員の方々には本当にご苦労され、子どもたちも様々な思いで過ごされてきたと思います。

これから先も警戒感を落とすことなく子どもたちの安全と安心を確保し、学びを保障する取り組みを続けなければなりません。

人口減少やグローバル化が進展し、過去の知識や経験では正しい解答にたどり着けない時代となっています。こうした中、二〇二〇年度から始まった新しい学習指導要領で示す「主体的・対話的で深い学び」、そして「様々な人の意見を聞き、まとめ、伝える力を育む教育」を推し進めるため、次の三つの事項を重点とします。

### ① 「義務教育九年間を通じた資質・能力の育成」

小学校と中学校は、児童生徒の発達段階に応じて教育活動が異なるため、指導体制や方法などの様々な違いが、いわば学校の文化として積み上げられてきました。しかし、学力の向上は長期的な視野で取り組む必要があります。そのためには家庭・地域・行政が一体となって支援することが重要です。義務教育の九年間で着実に学力が積み上がるよう、目指す子ども像の設定、系統性を踏まえた指導的な展開を図って

く必要があります。

このため、小中一貫教育制度を導入し、義務教育九年間を連続した教育課程と捉え、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえた取り組みをして参ります。

具体的には、利尻小学校・鬼脇中学校の小中併置校を「施設一体型」、鴛泊小学校・鴛泊中学校を「施設隣接型」として導入を目指し、その推進体制を教育委員会、各学校、関係者と整備し、取り組み工程や保護者そして地域の声を聞きながら、児童生徒にとつてどのような意義があるのかを学校と一体となつて具体的に示して参りたいと思います。

### ② 「新しい時代の学びの実現」

昨年、タブレット端末の一人一台の授業が本格的に始まり、一人ひとりの目的に合わせてパソコンを使う姿が新しい学校の日常になろうとしています。本町でのコロナ禍で学びを止めないICT（情報通信技術）の活用は、先生たちが一丸となり取り組んでいたいた成果となつて、安全・安心で持続可能な教育環境の確保として他の市町村の模範となるまで進歩しました。

大きく変化した学び方は進化の一方課題も浮き上がってきます。このため「学校デジタル化推進協議会（学校教育DX）」の活動を促すべく支援を行い、教職員のICTスキルの向上、働き方改革、子どもたちの探求心へとつながる更なる新しい環境づくりと学び

の実現を目指します。

### ③ 「未来への道を切り拓く力の育成」

予測困難な時代に子どもたちの主体的なキャリア形成や自尊心・自立心を高め、コロナ禍で閉塞感のある時だからこそ、子どもたちの夢や希望を育む教育が重要です。

このため、学力向上事業ではより多くの児童生徒の英語・数学・漢字検定の機会を促すとともに、国際理解教育の充実のため、外国語指導助手（ALT）の配置を継続的に行います。また、特別支援教育においては、保護者との対話を重視しながら関係機関との連携をより強化し、個々の特性に応じて可能性を伸ばし、生活に即した活動を取り入れつつ、学んでいることの意味や意義が理解できるような支援体制を図るとともに、ICTを活用した主体的に学べる教材の積極的な活用に取り組みます。

以上、すべての子どもたちが充実した学びのプロセスを通じて社会に出るための力をしっかりと身に着けることができるよう、各種教育施策を充実して参ります。

## 二．生涯を通じ個性が輝き 豊かさを實現できる教育と学習

教育は人と人とのつながりが基盤となつて成り立っています。しかし、地域と学校のつながり、先生たちとのつながり、そして人とのコミュニケーション

ョンとして社会的なつながりを断たれ、物理的な距離が必要になってしまいがち。これからは、あらゆる環境の変化に対応しながら地域住民同士が共に学び合い、教え合う相互学習を通じて、教養の向上、健康の増進、人と人とのつながりを生みだすことが大切であると捉え、地域づくりの実践に結びつくことができるような生涯学習の推進に努めます。

① 「社会で生きる」知・徳・体の育成

誰もが豊かな人生を送ることができるよう学びのきっかけづくりを進めるとともに、仲間とつながり楽しく学び、学んだことを生かせる持続可能な学習機会の提供が必要です。

関係機関や団体等の様々な主体との連携を深め、地域の可能性や課題を掘り起こし、学習体験を通じ、まちづくりを牽引するための地学協働体制を構築します。コミュニティ・スクールの充実や自然災害から命を守る防災教育の充実に向けた一日防災学校の実施、海とつながる森林木育活動をはじめ、関係機関の協力のもと知識と知見の教養を図ります。

道徳教育では、お互いの価値観を認め合い、自分を見つめ、他者の立場を尊重することができるよう指導の充実を図りながら、いじめや不登校に起因する構造的な問題とならない環境をつくりまします。本町の児童生徒の基礎的体力は公共施設の開放等による授業外での運動機

会を充実させる取り組みで全国・全道平均を上回っています。

世界の舞台で活躍したアスリートたちの感動を忘れることなく、これからも指導者への協力と関係団体の支援、スポーツや交流活動の環境整備に取り組みで参ります。



一日防災学校の様子

② 「ふるさとを支え魅力ある学びの提供」

第三期利尻富士町生涯学習推進計画（二〇二一～二〇三〇年）では、「ふるさとを支える、人の魅力があふれるまち」をスローガンに住民一人ひとりの学習活動をするを基本に、地域の良さや可能性を最大限に生かし、相互のつながりを深め、地域づくりを進めることとしています。

ライフステージに応じた多様な学習機会の提供、文化・芸術活動の推進、健康な町民育成のためのスポーツ振興、まちづくり活動への参加を促します。

本年度においても優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、文化協会をはじめとする各種団体の活動や鑑賞機会について支援するとともに、誰もがスポーツに取り組むことができる環境の充実を図ります。また、町内に所在する文化遺産の調査研究を通じて住民の学習機会の場を提供する「文化遺産を生かした学び交流事業」を本年度も助成金を活用

して実施するとともに、ふるさとへの愛着や誇りを育む「ふるさと教育体験事業」による利尻島上空の遊覧飛行を継続します。



③ 「地域の共生と多様な社会への対応」

多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、すべての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する「令和の日本型学校教育（中央教育審議会）」では、障害のある子供の自立と社会参加を見据え、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場の一層の充実・

整備が謳われています。本町でも特別支援教育連携協議会を通じて情報の共有や保護者・地域との連携、生涯地域で暮らせる仕組みづくりを強化してまいります。また、本年度から新たに島外の特別支援学校に通学する保護者の精神的かつ経済的負担を少しでも軽減するため、年間を通じて負担となる交通費（フェリー運賃）の世帯定額助成を行います。

宗谷における資質・能力を確実に育成する学力保障の総括的指標の達成や北海道では小・中・高の十二年間の連続性と継続性を踏まえた一体的な学力保障の充実を目指しています。その一方、公立高等学校の配置計画において令和六年度から利尻高等学校の募集定員を一学級四十名（学科未定）とする方針が令和三年九月に示されました。

昨年度から行われている両町での再編整備される利尻高校の在り方についての意見交換や意識調査をもとにした協議を引き続き実施し、子どもたちが十二年間地元で学び多様な力を身につけるよう、利尻高校の魅力化とともに関係協議への支援やふるさと教育、キャリア支援を実施して参ります。

以上、令和四年度の教育行政の推進方針と主要な施策について申し上げます。町議会議員の皆様並びに町民の皆様、教育関係者の一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。政執行方針といたします。



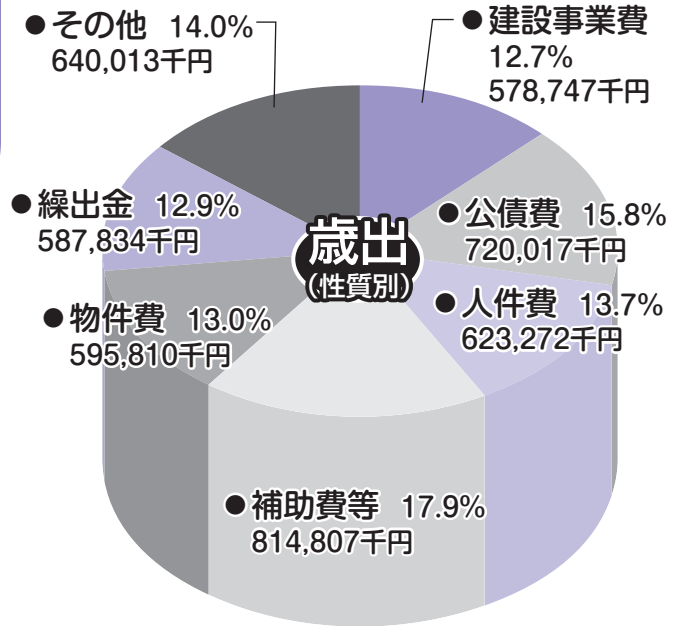
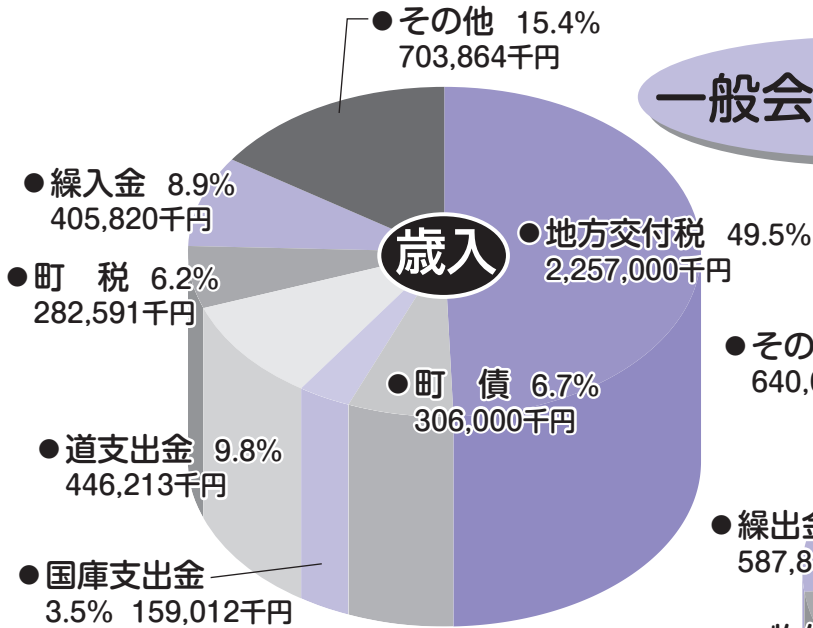
一般会計の歳入・歳出予算額は…

# 45億6,050万円

令和4年度の一般会計当初予算額は、前年度比7.1%の増となっております。特別会計の合計21億5,636万3千円と合わせた町の予算総額は67億1,686万3千円で、前年度比約8.8%（5億4,582万4千円）の増額となります。

令和4年度の  
**予算概要**  
をお知らせします。

## 一般会計予算は？



### ■特別会計予算

単位：千円

	令和4年度	令和3年度	比較
簡易水道事業特別会計	147,460	75,343	95.7%
下水道事業特別会計	371,644	250,536	48.3%
港湾整備事業特別会計	64,563	65,348	△1.2%
温泉事業特別会計	128,111	64,821	97.6%
国保事業特別会計	386,685	402,034	△3.8%
後期高齢者医療特別会計	51,552	50,172	2.8%
介護保険事業特別会計	339,085	337,701	0.4%
介護サービス特別会計	538,409	546,944	△1.6%
歯科施設特別会計	46,650	46,490	0.3%
国保施設特別会計	82,204	71,950	14.3%
<b>合計</b>	<b>2,156,363</b>	<b>1,911,339</b>	<b>12.8%</b>

### ■一般会計予算（目的別歳出予算）

単位：千円

科目	令和4年度	令和3年度	比較
議会費	45,380	44,746	1.4%
総務費	685,473	633,847	8.1%
民生費	537,126	498,642	7.7%
衛生費	350,603	315,057	11.3%
労働費	85	84	1.2%
農林水産業費	216,678	167,183	29.6%
商工費	191,122	201,738	△5.3%
土木費	952,996	859,451	10.9%
消防費	234,399	230,612	1.6%
教育費	249,052	246,603	1.0%
地方創生費	19,006	20,349	△6.6%
公債費	720,017	776,795	△7.3%
諸支出金	355,562	261,592	35.9%
災害復旧費	1	1	0%
予備費	3,000	3,000	0%
<b>合計</b>	<b>4,560,500</b>	<b>4,259,700</b>	<b>7.1%</b>



# 町内新就職者紹介

- ①出身地 ②配属先
- ③趣味・特技
- ④今後の抱負



いとう かず ひろ  
**伊藤 一博さん**

- ①旭川市
- ②特別養護老人ホーム秀峰園 園長（看護師、社会福祉士、介護支援専門員）
- ③スノーボード、ゴルフ
- ④今までの看護師や介護支援専門員等における経験や知識を人生の集大成としてお伝えすることができ、入所している方がこんな良い所はないなと思えるよう努めてまいります。



しちのへ がく  
**七戸 岳さん**

- ①利尻富士町
- ②利尻礼文消防事務組合 利尻富士支署 警防係
- ③バドミントン、スノーボード、水切り
- ④早く利尻富士支署の一員として活躍できるように先輩方を見ながら全力で頑張りたいです！



ふく し こと ね  
**福土 琴音さん**

- ①利尻富士町 ②利尻島老人保健施設 介護福祉士
- ③料理動画を見たり、行うこと
- ④この職になりたく、2年間札幌で勉強・資格を取得し、地元の利尻に帰ってくる事ができました。とても不安な気持ちがいっぱいですが、小さい時から可愛がっていただいた高齢者の方々に、恩返しをする気持ちを持ち、少しずつ仕事に慣れ、新人として精一杯頑張ります。



まえ だ そら  
**前田 空さん**

- ①利尻富士町 ②社会福祉協議会 書記 ③ゲーム、音楽・映画鑑賞
- ④社会福祉協議会に入り、約2ヶ月経ちましたが、様々な業務を進めていく中で、毎日頭を抱えながら仕事をしています。大変ですが、早く慣れて、手際よく業務をしたいと思っています。利尻富士町役場、福祉課と協力しながら、町民の方々の為にも一生懸命仕事をして、頼られる職員になれるよう努力しますので、よろしくお願いします。



やま がみ さ え  
**山上 紗英さん**

- ①利尻富士町 ②利尻富士町役場 建設課 まちづくり係兼上下水道係
- ③読書、ダンス
- ④利尻富士町役場で働き始めて2か月が経ちました。少しずつできることが増え、同時に、社会人になったんだという実感も感じています。できることは増えましたが、役場職員としてはまだまだ未熟です。ですが、これから1つ1つしっかり仕事を覚えて、1日でも早く町民の皆様の役に立てよう精いっぱい頑張ります。よろしくお願いします。



よこ やま つばさ  
**横山 飛翔さん**

- ①稚内市
- ②利尻漁業協同組合 冷凍加工係
- ③バレーボール
- ④早く仕事に慣れて、組合の力になれるように頑張りたいと思います。

# 警察官紹介



鬼脇駐在所 巡査部長 <sup>く</sup> <sup>ほ</sup> <sup>きょう</sup> <sup>すけ</sup> 久保京介さん

今年度の春、札幌市の機動隊から異動となり、鬼脇駐在所で勤務させて頂くことになりました、久保京介と申します。私、妊娠中の妻、お腹の中にいる赤ちゃんの3人で島へ赴任してきました。以前から利尻島での勤務を希望しており、念願叶った今、抜群の自然環境を目の前にし、感動を覚えている毎日です。島の皆様により添い、安心と安全を守れるよう尽力致しますので、よろしくお願いします。



鷺泊駐在所 巡査 <sup>み</sup> <sup>さわ</sup> <sup>よし</sup> <sup>あき</sup> 三澤喜昭さん

この春、留萌からの移動で鷺泊駐在所にやってきました三澤喜昭と申します。妻と2人、初めてフェリーでこの島にやってきたときに、写真とは全く違う利尻山の迫力は一生忘れることはありません。初めての駐在勤務で、最初は不安もありましたが、町民の方々に大変親切にいただき、感謝しております。この町の安全の為、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



総務省

## 利尻富士町行政相談委員の佐藤千恵子さんが “総務省北海道管区行政評価局長表彰”を受賞されました!



利尻富士町行政相談委員の佐藤千恵子さん（鷺泊字栄町）が、5月20日に旭川市で開催された「行政相談委員全体会議」にて総務省北海道管区行政評価局長表彰を受賞されました。

行政相談委員とは、行政に関する国民の身近な相談窓口として、総務大臣が委嘱した民間の有識者です。また、国民からの行政に対する苦情等を受け付け、その解決を促進するため、関係行政機関とのパイプ役として重要な役割を担っています。佐藤さんは行政相談委員としての功績が認められ、今回の受賞となりました。



(行政相談委員全体会議での表彰式の様子)



(行政相談委員歴：当初委嘱から現在まで17年1か月)

※北海道管区行政評価局長表彰とは 北海道内で活動している行政相談委員の中から、その功績が顕著で他の模範となる行政相談委員に対して行うものです。

# 地域おこし協力隊通信 vol.11

今回は栽培漁業推進員の鈴木隊員について活動報告をさせていただきます。

昨年の5月に横浜からやって参りました協力隊の鈴木太郎です。

着任して1年が経ちました。この1年取り組んだ主な活動としては、公共施設の草刈りとさけふ化場での飼育作業です。

着任早々に左手の指の骨を折ってしまい、満足に活動ができない中で何か島の役に立てることはないだろうかと考えていたところ産業振興課の関課長に誘われ「歴史の森」の草刈りに行きました。それからは、ペン岬、南浜湿原など利尻富士町内の観光施設の草刈りを任せて頂けるようになりました。気が付けば、刈払機取扱作業従事者教育を受講していました。



地域おこし協力隊隊員  
鈴木太郎

秋には佐々木忠弘親方の指導の下、さけふ化場での業務が始まりました。

土日祝祭日関係なし、悪天候時にはふ化場に宿直。吹雪の中、水道・ガスもないふ化場の事務所でストーブの具合が悪くなり、寝たら死んでしまうのではないかと本気で心配しながら起きているためにひたすら雪かきをして過ごした晩も、今となってはいい思い出です。初めて見聞きすることばかりでしたが、面白優楽しい親方のおかげで先日、ようやく無事サケ稚魚の放流をすることができました。生き物を扱う大変さと責任感、多くを学ばせていただいた1年でした。親方や澤目大輔さん、佐々木達也さんには迷惑もかけたろうし、本当に面倒を見てもらって感謝しかないです。

今後、取り組みたい活動としては、漁場調査をしながらダイビングスポットの探索です。任期終業後、島内でファンダイビングを足掛かりに、他のマリンスポーツも観光レジャー産業として確立することが出来たらいいなと思います。



# サケ稚魚見学・放流体験

令和4年5月2日(月)に朝日ふ化場においてサケ稚魚見学・放流体験を行いました。当日は約30名の方が参加し、朝日川河口や旭浜漁港斜路で放流を行いました。そのほか、餌やり体験も行い、飼育池一面にいるたくさんの稚魚に子供たちも驚いていました。

利尻富士町には4つのふ化場があり、11・12月頃に種卵を収容し、約19,000千尾の稚魚を生産しています。放流された稚魚はベーリング海やアラスカ湾で成熟し、約4年後に日本沿岸の川に帰ってきます。

サケは利尻富士町の水揚げ量第2位となっており、サケ稚魚ふ化放流の取組は町の産業を支える重要な取組です。近年では稚魚たちが育つ海の変化により、帰ってくる成魚が安定しない状況が続いていますが、より良質な稚魚を生産するようふ化放流の取組に励みますので、元気なサケが帰ってくるよう応援して頂ければと思います。



## わがまち タイムスりっぷ

連載⑤7

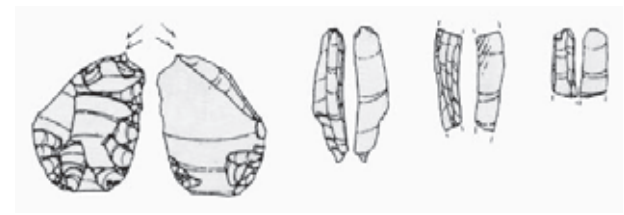
### 利尻島の古代を探る⑧ 利尻島最初のヒトの痕跡

人類が土器を使いはじめたのは縄文時代ですが、その前の段階は、一般に旧石器時代と呼ばれています。利尻島にもその終わりごろの石器が、1976年の調査で見つかっています。残念ながらその石器は、図や写真はあるのですが実物が行方不明です。それは、荒屋型彫器（新潟県の荒屋遺跡で最初に命名）と呼ばれる動物の骨や角を削るための道具と細石刃（骨や木の軸に複数はめこむ小さな刃で、全体として大型の刃物になる）で、広く東北地方から北海道、サハリンやシベリアまで分布していて、北方から東北地方へ南下したとも考えられています。約13000年前、定住ではなく遊牧民のように移動をしながら狩猟や採集をする生活であった当時、利尻島ではどのような状況だったのか、まだまだベールに包まれています。

今年の秋には、過去に石器が見つかった辺りを調査し、新たな痕跡の発見に取り組んでいきます。



栄町キャンプ場遺跡周辺(1978年)



左端が荒屋型彫器、ほかは細石刃や剥片

皆さんのお宅にも、畑などで拾った石器のようなものがあるかもしれません。ぜひご一報いただければ幸いです。(教育委員会 山谷：☎82-1370)

【訂正】前回の記事の連載番号は、58ではなく56の誤りでした。

# 保健師だより

総合保健福祉センター ☎82-2320



## 歯と口の健康について 見直してみませんか？



利尻富士町民の  
歯の状況は  
どうなってるの??



成人で20本以上の歯を保有している方は、わずか**40%**！70歳以上で保有している方は約**10%**です。

定期的に歯科検診を受けている方は**20%弱**。他の市町村では**60%**の方が検診を受けています。

### 歯と口の役割!



食べる

話す

表情を作る

姿勢やバランスを保つ

### よく噛んでいますか？

「よく噛む」ことの効果！

- 肥満予防
- 味覚の発達
- 言葉の発音はつきり
- 脳の発達
- 歯の病気予防
- がん予防
- 胃腸快調
- 全力投球



### 正しいセルフケア

- ① 歯みがき
- ② デンタルフロス、歯間ブラシ
- ③ 洗口液（マウスウォッシュ）
- ④ 唾液を増やす（唾液腺マッサージ）
- ⑤ 定期的に歯科検診を受ける



### 唾液の分泌を増やす「唾液マッサージ」



**舌下腺マッサージ**  
両手の親指を揃えて、顎の下から舌を押し上げるようにぐっと10回押す。



**顎下腺マッサージ**  
親指で、顎の軟らかい部分を耳下から顎下まで5ヶ所ほどを5回ずつ押す。



**耳下腺マッサージ**  
親指以外の4本の指で、上の奥歯あたりから前へゆつくり10回まわす。

※歯と口の衰えは、フレイルにも繋がります。  
よく食べ、よく話し、よく笑いましょう！

## 門間先生の水中運動教室

稚内の健幸サポートHappy moonより、門間奈月先生に来ていただき、水中運動教室を実施します。

昨年度2月に一度実施し、5名の受講者の方々に来ていただきました。今年度は、6月から月に1～2回の水中運動教室を実施します。

水中運動教室のメリットは、水の特性である「浮力・抵抗・水圧・水温」を利用して運動ができることです。水中に入ることによって身体が軽くなり、水の抵抗によって動きがゆるやかになることで、膝関節や腰部に大きな負担がかかることはありません。そのため足腰に不安のある方でも運動しやすい環境だといえます。効果としては、心肺機能の向上、生活習慣病の改善、むくみや腰痛、肩凝りなどの解消、体脂肪の燃焼など、多くのメリットがあります。

また、門間先生の水中運動教室は自分にあったペースで運動することができ、水中ウォーキング、ストレッチ、アクアビクスなどの運動を一人一人丁寧に指導してまいります。

冬場は特に運動不足になりがちな方も多くいるかと思えます。ぜひ、温泉プール「湯泳館」にて行う水中運動教室にご参加ください。

スケジュールは毎月のお知らせりしり富士、もしくは利尻富士温泉保養施設に設置している利用スケジュールをご確認ください。



# りしりふじ町旅先納税の開始について

利尻富士町では、6月1日から町を訪れた観光客向けに、宗谷管内2例目となる「旅先納税」を始めました。

旅先納税とは、ポスター等に記載されたQRコードをスマートフォンで読み取り、専用サイトからふるさと納税をすることで、寄附額に対して3割分の電子クーポン券が受け取り、町内加盟店に設置してある読み取り機でクーポン券を使用できるサービスとなっております。

納税額は5,000円からで、クーポン獲得後1年間の利用が可能となっており、利尻富士町では「旅の空き時間を使い気軽にふるさと納税をして頂き、町内での消費喚起につなげていきたい」と考えています。



## ベイベーター 6人の元気な赤ちゃんを紹介するよ!



みかみひなと  
**三上陽翔**くん  
R3. 11. 23 生

【両親】 悠生希・恵梨華  
【住所】 清川

はじめまして！ひなとです！  
小さく生まれたけどたくさんミルクを飲んで大きくなりました！  
僕は乗り物が大好きで車やベビーカーに乗るとすぐ寝ちゃいます。  
見かけたら声をかけてください！



いとうりさ  
**伊藤莉佐**ちゃん  
R3. 12. 10 生

【両親】 雅敏・茉佑  
【住所】 金崎

初めまして、私の名前は莉沙です！私はパパと遊ぶのが大好きです。眠るときはママじゃないと眠れません。なぜならママは子守唄を歌ってくれるので、ぐっすり眠れるからです。こんな私ですが、よろしくお願い致します!!



ながおかつむぐ  
**長岡紡久**くん  
R4. 1. 28 生

【両親】 俊紀・沙英  
【住所】 栄町1

へいらっしゃい！おいらの名前はながおかつむぐ！  
名前の由来は、糸をつむぐように、たくさんの人とのつながりを大切にしたいって、パパとママがつけてくれたんだ☆  
まだまだ半人前のおいらだけど、毎日元気に成長中だよ！  
見かけたらぜひ声をかけてね～！



おおかわちあき  
**大川千暁**くん  
R4. 3. 9 生

【両親】 景史・沙耶  
【住所】 栄町2

はじめまして。大川家長男、千暁です！皆にパパ似だねって言われるよ。抱っこが大好きだから抱っこしてくれないと顔真っ赤にして泣いちゃうんだから！  
お喋りも上手になってきたしよく笑うようになったよ😊  
家族共々、よろしくお願ひします！



いとうちひろ  
**伊藤千紘**ちゃん  
R4. 3. 10 生

【両親】 寛明・凧菜  
【住所】 本町

こんにちは、千紘です！  
パパに似て物静かだからいつもみんなに心配されちゃうけど、笑い方はママに似て豪快な私♡  
最近の楽しみは、猫のとら子お姉ちゃんと遊んだり従姉妹の莉佐ちゃんに会いに行くこと♪  
街で見かけたら、話しかけてほしいなあ♡



まきのあやめ  
**牧野彩芽**ちゃん  
R4. 4. 25 生

【両親】 正志・菜都美  
【住所】 鬼脇2

はじめまして、こんにちは！私の名前は彩芽と言います。5歳のおにちゃんが毎日、話しかけてくれたり、歌を聞かせてくれたりと楽しい日々を過ごしています。  
楽しみなことは家族みんなでお出かけしたり、色んなことのお喋りすることです！

# 7月17日は「北海道みんなの日」

～北海道の価値を見つめ直し、これからの北海道を考える日～

1869年（明治2年）、北海道の名付け親とされる松浦武四郎が、明治政府に「北加伊道（ほっかいどう）」という名称を提案した7月17日は、「北海道みんなの日」、愛称「道みんなの日」です。

北海道の魅力と価値を再発見し、北海道を誇りに思う心を育み、より豊かな北海道を築き上げることを期する日として平成29年に制定しました。

この日をきっかけに、道民の皆様には北海道に愛着や誇りを持っていただければ幸いです。



## ★お誕生おめでとうございます★

戸籍窓の口

保護者	続柄	氏名	月日	住所
伊藤 雅敏・茉 佑 様	長女	莉佐（りさ）ちゃん	R 3.12.10	金 崎
長岡 俊紀・沙 英 様	長男	紡久（つむぐ）くん	R 4.1.28	栄町1
大川 景史・沙 耶 様	長男	千暁（ちあき）くん	R 4.3.9	富士野
伊藤 寛明・凧 菜 様	長女	千紘（ちひろ）ちゃん	R 4.3.10	本 町
牧野 正志・菜都美 様	長女	彩芽（あやめ）ちゃん	R 4.4.25	鬼脇2

## ♥ご結婚おめでとうございます♥

月日	氏名	住所	月日	氏名	住所
R 4.1.11	畠山 剛 様	鬼脇1	R 4.2.23	竹内 波稀 様	栄町2
	中田 優香 様	鬼脇1		山本 愛華 様	栄町2

## ◆お悔やみ申しあげます◆

氏名	月日	年齢	住所	氏名	月日	年齢	住所
白川 勝子 様	R 3.12.13	78歳	富士岬	嶋中 三雄 様	R 4.1.6	61歳	本 泊
福岡 利二 様	R 4.1.9	93歳	本 町	脇本 敬節 様	R 4.1.11	65歳	栄町2
山田 英輝 様	R 4.1.15	47歳	栄町2	佐々木秀子 様	R 4.1.25	84歳	鯉 泊
岩木 松藏 様	R 4.1.29	95歳	鬼脇1	佐藤 卓雄 様	R 4.1.30	82歳	本 泊
山本 マサ 様	R 4.2.8	98歳	雄忠志内	柴田 良一 様	R 4.2.11	75歳	栄町1
梶木ミヤ子 様	R 4.2.12	96歳	鬼脇1	平井フミエ 様	R 4.2.15	92歳	鬼脇1
加島 博子 様	R 4.2.19	84歳	鬼脇1	石川 ヨネ 様	R 4.2.19	96歳	鬼脇1
佐藤 茂 様	R 4.2.21	89歳	金 崎	東山 榮一 様	R 4.3.13	88歳	旭 浜
吉田 藤子 様	R 4.3.17	84歳	鬼脇1	島田 初栄 様	R 4.3.18	92歳	鬼脇1
伊藤 敏春 様	R 4.3.19	86歳	鬼脇1	佐藤シメエ 様	R 4.3.23	86歳	金 崎
佐藤 威 様	R 4.3.23	63歳	金 崎	西村 幸子 様	R 4.3.29	92歳	鬼脇1
上村 秀昭 様	R 4.4.2	85歳	野 塚				

## 編集後記

令和4年度も早2か月を過ぎましたが、6月に入っても気温は上がらず、夏の訪れはもう少し先ようです。

さて、新型コロナウイルスの感染が落ち着きを見せている中、6月5日に利尻島一周悠遊覧人Gが3年ぶりに開催されました。

観光客の姿も多く見られるようになり、徐々にではありますが、利尻島本来の姿を取り戻しつつあるような気がしております。

順調に行きますと、9月には交通事故ゼロ2,000日を迎えることができます。

これから観光バスなど交通量が増える季節を迎えますが、次号9月号では交通事故ゼロ2,000日達成の記事を掲載し、町民の皆様と喜び合えることを願っております。

## 人口のうごき (令和4年5月31日現在)

	男	女	計	世帯
鴛泊	787	818	1,605	825
鬼脇	328	349	677	408
合計	1,115	1,167	2,282	1,233